



2026年3月13日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

英国連結子会社における Isar Aerospace との打上げ契約締結に関するお知らせ

当社の英国連結子会社である Astroscale Ltd (以下、ASUK) はこの度、軌道上で役目を終えた複数の人工衛星を除去する「ELSA-M (エルサ・エム、End-of-Life Services by Astroscale - Multiple の略)」のミッションに関して、欧州の宇宙企業 Isar Aerospace SE (以下、Isar Aerospace) との間で打上げ契約を締結したことをお知らせいたします。

1. 本契約の概要

契 約 先 : Isar Aerospace SE

打 上 げ 予 定 時 期 : 2028年4月期

本契約につきまして、2026年3月12日(英国時間)に合意決定のうえ締結いたしました。

2. ELSA-M の概要

2028年4月期以降に打上げを予定している ELSA-M は、捕獲や除去を可能にするインターフェイスを搭載した衛星を対象とした、衛星運用終了時の除去を行う EOL (End-of-Life) サービスとして世界初のミッションです。この軌道上実証ミッションは、欧州宇宙機関 (ESA) と Eutelsat のパートナーシップである Sunrise プログラムを通じて、英国宇宙局 (UKSA) によって支援されており、ASUK が過半を拠出し、残りは欧州宇宙機関および Eutelsat を通じた英国宇宙庁による共同出資で構成されています。Sunrise プログラムは ESA の ARTES (Advanced Research in Telecommunications Systems) プログラムの一部であり、次世代通信衛星ミッションのためのソリューションを開発することを目的としています。

3. Isar Aerospace 及び「Spectrum」ロケットについて

Isar Aerospace は、2018年設立の欧州の宇宙企業で、主に小型・中型衛星や衛星コンステレーションの打上げ需要に対応する低価格の打上げサービスを提供しています。Isar Aerospace が開発する「Spectrum」ロケットは、最大 1,000kg を低軌道 (LEO) へ投入可能です。Spectrum は設計から製造、試験、打上げに至るまで、ほぼすべてを社内で一貫して行う“垂直統合モデル”が特徴で、高い柔軟性と品質管理を実現し、衛星コンステレーションや EOL サービスの技術実証等の多様なミッション要求に対応できる優れた機動性を持っています。

また、当社の ELSA-M ミッションの打上げ前にも複数の打上げを予定しており、信頼性もますます高まることが期待されています。

4. ELSA-M ミッションで Spectrum を使用する意義

Isar Aerospace は、ノルウェーの Andøya Space やフランス領ギアナの Guiana Space Centre からの打上げ枠を確保しており、欧州の「Access to space」拡大に貢献しています。ESA プログラムである ELSA-M ミッションにおいて、欧州で最も開発が進んでいるロケット Spectrum を活用して宇宙実証を行うことは、域内独

自の宇宙技術の確立を目指す欧州の宇宙政策の方針にも合致しています。

5. 今後の見通し

本件は 2026 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めているため、業績予想に与える影響はございません。
ELSA-M フェーズ 4 の契約金額の総額 13.95 百万ユーロ（約 25.6 億円※）にも変更はありません。

※2026 年 3 月 12 日現在における為替レート（1 ユーロ=183.70 円）により換算。

以上